

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

経営理念

最先端のAIソリューションでよりよい明日の実現。革新技術で今日を変え未来を彩る企業を目指す。

2 中長期の経営戦略

1. AIインフラ事業

GPUサーバー販売からAIDC事業への転換を推進。調達・販売ネットワークとパートナー連携で資産効率の高いビジネスモデルを構築。

2. AIゲーム事業

GYEE運営と並行し、Web3版やIP活用ゲーム開発を展開。AI技術で効率的開発体制を構築し、早期収益化と事業リスク分散を図る。

3. 企業向けAIソリューション

AI技術進化に対応した実用的ソリューション設計・提供に注力。人材・技術・顧客基盤の段階的整備で競争優位性確保。

4. アイラッシュケア事業

収支均衡維持と安定的売上基盤の確保。Wellness領域拡張を視野に新サービスモデル構築と収益源多様化を図る。

3 対処すべき課題

① AI技術開発競争への対応

- ・ 生成AIやLLMの普及で計算能力需要が急速に増加
- ・ 世界的なAI開発競争の激化で経営戦略の見直しが必須
- ・ トレンド変化に迅速に対応する必要性

② AIゲーム事業の収益化課題

- ・ グローバル市場で開発費高騰、収益化に時間とコスト要する
- ・ IP取得契約条件の厳格化で初期投資が多額
- ・ 短期収益確保と中長期成長投資の両立が必要

③ 経営環境の不確実性への対応

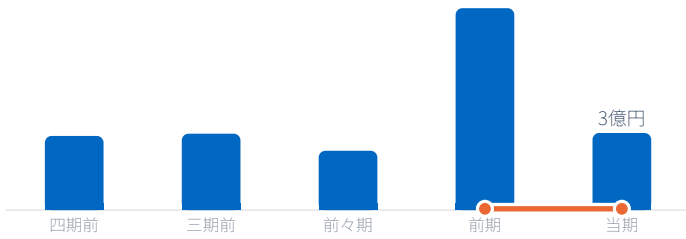
- ・ 米中関係緊張で世界経済分断化が進行
- ・ 信頼性の高いパートナー確保が課題
- ・ 国内マーケティング体制の再構築が必要

面接で使えるポイント

- ・ AIソリューション事業を中核に、AIインフラ・AIゲーム・企業向けAIソリューションの三領域確立を目指す事業構造。
- ・ GYEE運営とWeb3版、IP活用ゲーム開発など複数プロジェクトで早期収益化と事業リスク分散を両立。
- ・ グローバル市場でのAI関連事業展開と収益力強化を基本方針に、成長分野への経営資源投入を継続。

証券コード 2338

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに
情報・通信業を営む上場企業であり、直近期の連結売上は7億円

主力事業・セグメント

・情報・通信業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

・将来性評価は晴れ

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
3億円

営業利益率
▲264.0%

財務健康度
30点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 37.4（当サイト算出の参考指標）

平均年収
556万円

情報・通信業内 475位/592社

平均年齢
41.9歳

情報・通信業内 112位/593社

平均勤続
1.7年

情報・通信業内 588位/593社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

